

大会名 Competition	第32回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-101	Year Month Day Time 2019 年 5 月 3 日 9 : 00
場 所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB
能代工業	(24 1st 19 12 2nd 19 21 3rd 24 14 4th 11 0 T)	洛 南
71 ●		73 ○

主審:Crew chief
水木順仁 秋田
副審:Umpire
小川裕之 秋田
田村高光 秋田
テーブルオフィシャル:Table officials
能代高女子

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	須藤 陸	CAP	28	5	5	3	1	4		北橋 岳洋		-	-	-	-	0
5		栗屋 颯太		-	-	-	-	0	5	×	星川 堅信	CAP	20	1	8	1	0
6	×	森山 陽向		4	0	2	0	2	6	／	藪田 陽大		8	2	1	0	1
7	×	秋元 淳之介		19	3	4	2	4	7	／	槇野 伶		2	0	1	0	0
8	×	伊東 翼		4	0	1	2	2	8		井関 傑		-	-	-	-	0
9	／	上村 悠真		0	0	0	0	1	9	／	熊田 彩人		4	0	2	0	1
10	／	上村 大佐		4	0	2	0	3	10		北川 舜		-	-	-	-	0
11	×	佐々木 駿汰		9	3	0	0	0	11	×	小川 敦也		23	0	9	5	2
12	／	中山 玄己		3	1	0	0	0	12	×	浅野 ケニー		10	0	5	0	2
13	／	高橋 裕心		0	0	0	0	0	13	×	松山 雄亮		4	0	2	0	1
14	／	田中 伶治		0	0	0	0	1	14	×	西村 慶太郎		2	0	1	0	4
15		成澤 頼		-	-	-	-	0	15		大石 日向		-	-	-	-	0
16	／	大石 隼		0	0	0	0	0	16		大西 一輝		-	-	-	-	0
17		小形 佳史		-	-	-	-	0	17		山岸 優介		-	-	-	-	0
18		藤原 健太郎		-	-	-	-	0	18		大長 勇也		-	-	-	-	0
コーチ		小野 秀二						0	コーチ		吉田 裕司						0
アコーチ		島内 聡太						0	アコーチ		河合 祥樹						0
合 計				71	12	14	7	14	合 計				73	3	29	6	11

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P率 イントシュート 2P:2P率 イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking[Team]

1	28	39.44%	須藤 陸	1	23	31.51%	小川 敦也
2	19	26.76%	秋元 淳之介	2	20	27.40%	星川 堅信
3	9	12.68%	佐々木 駿汰	3	10	13.70%	浅野 ケニー

Score ranking[Game]

1	28	須藤 陸	能代工業	2	23	小川 敦也	洛 南	3	20	星川 堅信	洛 南
---	----	------	------	---	----	-------	-----	---	----	-------	-----

平成から令和へ、年号が変わった記念の年の能代カップ皮切りの第1試合は洛南と能代工業の対戦。両チームとも落ち着いた滑り出しで淡々とゲームは始まった。洛南は190cm台が3人という大型ラインナップ、一方能代工業は小柄ながら速さと外角からのシュート力を重視した布陣で臨む。1Qは24-19で能代工業がリードでゲームは進むが、2Qになり洛南の大きさが効いてくる。しかし、能代工業はスリーポイントで対抗。36-38の1ゴール差でハーフタイムへ。3Q、立ち上がりは能代工業がスパート。着実に加点し、47-44とする。しかし、洛南は高さで難なく回転し、57-62。4Qに入り、なんとかスピードでかわそうとする能代工業だが、洛南は mismatch をつけて点差を広げていく。状況が変わったのは、スモールラインナップに変えてから。ボールの回りが良くなり、ディフェンスを頑張り徐々に追いつがる。能代工業にとっては最後のディフェンスからの良いリズムを継続することに課題がありそうだ。